

# 研修参加報告書

令和5年10月27日

会派名 公明党市議団  
会派代表者 野下達哉

(参加者：野下達哉、石原資泰、岡地清仁)

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和5年10月25日(水)
研修時間	13:20~14:20
研修場所	西日本総合展示場新館
研修内容	基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長

②

年月日	令和5年10月25日(水)
研修時間	14:40~16:40
研修場所	西日本総合展示場新館
研修内容	パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞社編集委員 パネリスト 勢一 智子 西南学院大学法学部教授 辻 陽 近畿大学法学部教授 濱田 真里 Stand by Women 代表 女性議員のハラスメント相談 センター共同代表 田仲 常郎 北九州市議会議長

③

年月日	令和5年10月26日(木)
研修時間	9:00~11:00
研修場所	西日本総合展示場新館
研修内容	課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」 コーディネーター 江藤 俊昭 大正大学社会共生学部公共政策学科教授 事例報告者 辻 弘之 登別市議会議員 たぞえ 麻友 一般社団法人WOMAN SHIFT 理事 目黒区議会議員 永野 慶一郎 枕崎市議会議員

# 研修参加報告書

①

年月日	令和5年10月25日（水）
研修時間	13：20～14：20
研修場所	西日本総合展示場新館
研修内容	基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長
<b>■目的</b> 躍動的でワクワクする市議会に改革すること	
<b>■内容</b> ○地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する ○日本の地方議会に欠けていることは何か ○現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと ○議会の常識と市民の常識をすり合わせる—市民が首を傾げることとは ○今ふり返って議会に感謝していること	
<b>■所感</b> 躍動的でワクワクする市議会を実現するためには、市議会の活動や決定に関する情報を市民に透明かつ簡潔に提供するとともに、市民の声を尊重し、市民参加を奨励することが大切だと思う。また、市議会の構成において、多様性を尊重し、異なる背景や意見を反映するなど多様な視点からの議論が、ワクワク感を生むことになると思う。	

②

年月日	令和5年10月25日(水)
研修時間	14:40~16:40
研修場所	西日本総合展示場新館
研修内容	<p>パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <p>コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞社編集委員 パネリスト 勢一 智子 西南学院大学法学部教授 辻 陽 近畿大学法学部教授 濱田 真里 Stand by Women 代表 女性議員のハラスメント相談 センター共同代表 田仲 常郎 北九州市議会議長</p>
<p>■目的</p> <p>第1部 統一地方選を振り返る 第2部 統一地方選挙の検証と地方議会の課題</p>	
<p>■内容</p> <p>第1部 統一地方選を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自民 道府県議選で過半数を維持</li> <li>○今回の大きな特徴 女性議員の増加</li> <li>○依然として無投票当選多く</li> <li>○東京都杉並区の選挙管理委員会 若い世代の投票率向上へ「ボートマッチ」を企画</li> </ul> <p>第2部 パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題関心</li> <li>○総人口推移</li> <li>○人口構造の変化の見通し</li> <li>○衆議院議員総選挙における年代別投票率(抽出)の推移</li> <li>○統一地方選挙における投票率の推移</li> <li>○統一地方選挙における無投票当選者数の割合(推移)</li> <li>○地方自治法の一部を改正する法律</li> <li>○【背景】地方議会議員の概況(職業別)</li> <li>○【背景】地方議会議員の概況(性別年齢別)</li> <li>○【背景】地方議会議員の概況(女性議員の割合の推移)</li> </ul>	

- 多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申の概要
- 第33次地方制度調査会「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」
- 人口減少社会における地方議会の役割
- 多様な人材の議会への参画

■所感

統一地方選挙を検証し、地方議会の課題について考えることは、地方自治体の発展に対する重要なポイントだと思う。また、地方自治体の健全な運営と発展には、選挙での候補者の多様性が異なる意見や視点を反映し、地方自治体の意思決定に対する重要なポイントになることから、候補者の選択プロセスを改善し、性別、年齢、民族の背景などの多様化を促進することが重要だと思う。

③

年月日	令和5年10月26日(木)
研修時間	9:00~11:00
研修場所	西日本総合展示場新館
研修内容	<p>課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」</p> <p>コーディネーター 江藤 俊昭 大正大学社会共生学部公共政策学科教授</p> <p>事例報告者 辻 弘之 登別市議会議員 たぞえ 麻友 一般社団法人WOMAN SHIFT 理事 目黒区議会議員 永野 慶一郎 枕崎市議会議員</p>
<p>■目的 議員のなり手不足の要因と打開の方途</p>	
<p>■内容</p> <p>江藤 俊昭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○議員のなり手不足問題の取り組み</li> <li>「課題討議(本セッション)の課題」</li> <li>「議員のなり手不足の要因を探る」</li> <li>「議員のなり手不足問題を克服するための地方議会への提言」</li> <li>「本セッションの確認事項」</li> <li>「打開策の誤解」</li> </ul> <p>辻 弘之</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「なり手」を育てる</li> <li>地方議会未来への種まき研究会 ～地方議員養成講座～</li> </ul> <p>たぞえ 麻友</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○若手女性議員のネットワーク&amp;ママの議員インターン</li> </ul> <p>永野 慶一郎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○議員のなり手不足問題への取組報告</li> <li>無投票選挙の克服をめざした4年間の歩み</li> </ul>	
<p>■所感</p> <p>政治に参加する魅力を高め、質の高い候補者が政界に進出し易くするためには、議員の報酬を適正化し、労働条件を改善することが重要だと思う。また、政治家の役割が公共の利益をもたらし、貴重な存在として認識される行動をすることが重要だと思う。</p>	

